

科目名	障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)			ナンバリング	858152	授業形態	講義
対象学年	1年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	山本佳子〇	担当教員					

授業の概要	<p>障害をもつ当事者の機能・生活・社会的障害について、疾患・障害別に理解し、その不便さや問題点を代弁できることを目標とする。また、当事者のみでなく家族の心情や社会的困難についても理解し、必要な支援をするための基礎的な情報を得ることを目的とする。</p> <p>1. 身体障害、知的障害及び精神障害の概要 2. 障害者(児)の心理社会的課題及び必要な支援</p>						
到達目標	<p>1. 疾病・障害についてのWHOの考え方を理解し説明できるようにする。 2. 障害者に対する法律の変遷や社会資源の状況や支援体制を説明できるようにする。 3. 障害の受容について、本人や家族の心の動きを理解し、サポートのポイントについて説明できるようにする。 4. 障害を持つ人の自己実現・生活の質の向上やあり方について説明できる。</p>						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)							
ディプロマポリシーとの 関連	【人文学研究科 臨床心理専攻(修士課程)のディプロマポリシー】						
	○	1. 人間におけるさまざまな物事や問題を、臨床心理学の方法論を用いて探求し研究できる。					
	○	2. 臨床心理学の知識を深めるとともに、心理学全般にわたる幅広い教養を持ち、臨床的な枠組みを用いて、実践的に研究することができる。					
		3. 心理臨床の場面に对应しうるコミュニケーション能力を持ち、状況に応じたふさわしい自己表現ができる。					
	○	4. 自ら問いを立て、それに答えていく研究能力を持ち、積極的に活動できる。					
		5. 各自の研究成果を、修士学位論文にまとめ上げることができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
<p>障害をもつ当事者の機能・生活・社会的障害について、疾患・障害別に理解し、その不便さや問題点を代弁できる。 また、支援をするための基礎的な情報を得る。</p>	<p>障害をもつ当事者の機能・生活・社会的障害について、疾患・障害別に理解し、その不便さや問題点を代弁できる。 また、当事者のみでなく家族の心情や社会的困難についても理解し、必要な支援をするための基礎的な情報を得る。</p>

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○			○		30%
宿題・授業外レポート			○	○			40%
授業態度・授業への参加							30%

課題、評価のフィードバック	申し出があれば、個別でフィードバックできるように用意しておく。
---------------	---------------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	障害者(児)を取り巻く社会背景1	「障害」と「疾患」の考え方を整理し、その違いを説明できるようにする。 「特殊教育」から「特別支援教育」の流れを理解し、教育界における「障害」についての理解の歴史の変遷について説明できるようにする。	
	第2回	障害者(児)を取り巻く社会背景2	「障害者権利条約」を始めとする障害者支援に関する法律の内容を理解し、支援の目標を明確に説明できるようにする。	
	第3回	障害者(児)を取り巻く社会背景3	「精神障害」「発達障害」に対する世間の見方、偏見・スティグマ・心理的距離の現状について知り、今後の必要とされる対策についての意見を述べるようにする。	
	第4回	生来的障害(知的障害を含む)	乳幼児の発達の中で、生まれながらの障害がどのような形で発現してくるのかを知り、早期発見のためのアセスメント法について説明できるようにする。また、家族の障害受容についても理解を深める。	
	第5回	障害分類	国際生活機能分類(ICF)を理解し、障害者(児)の状態を「機能障害・構造障害」「活動制限」「参加制約」に分類することができるようにする。	
	第6回	身体機能に関する障害 (身体障害・認知機能障害を含む)	身体障害の概要を理解した上で、注意力・集中力・記憶力・思考力・判断力・計画力・実行機能などの認知機能障害などについても知り、アセスメント法の実際について説明できるようにする。	
	第7回	発達障害の理解と援助	発達障害の定義・診断の変遷や用いられ方を理解し、様々な認知機能特性・社会認知能力のとらえ方、障害のアセスメントの仕方を説明できるようにする。	
	第8回	注意欠陥多動性障害と学習障害	注意欠陥多動性障害と学習障害を持つ人の障害特性とコンフリクトを起こす社会状況について理解し、必要な援助について説明できるようにする。	
	第9回	自閉症スペクトラム障害1	自閉症スペクトラム障害を持つ人の障害特性について理解し、説明できるようにする。	
	第10回	自閉症スペクトラム障害2	自閉症スペクトラム障害を持つ人の障害特性とコンフリクトを起こす社会状況について理解し、必要な援助について説明できるようにする。	
	第11回	精神疾患と精神障害1	統合失調症者の発症時からの経過に伴って出現する症状や障害特性について理解し、その心理を説明できるようにする。	
	第12回	精神疾患と精神障害2	気分障害などの疾患の発症時からの経過に伴って出現する症状や障害特性について理解し、その心理を説明できるようにする。	
	第13回	障害受容1	障害者(児)が自らの障害に気づくプロセス、診断を経て、障害受容までの心理を理解し、そのプロセスにどのような援助が必要か説明できるようにする。	
	第14回	障害受容2	障害者(児)を取り巻く家族の心理的葛藤や問題点を理解し、どのような援助が必要か説明できるようにする。	
	第15回	障害者(児)の社会参加と自立	障害者の社会参加のシステムや現状を知り、「自立」についての意見と必要な援助について述べるようにする。	
		試験	試験は行わない。	
授業の進め方		講義を中心に行う。		
授業外学習の指示		前回の授業内容について、専門容疑・キーワードについては、各自調べ、定義・内容を整理し、まとめておくこと(90分/回程度)。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	特に指定しない。
参考書	
参考URLなど	
その他	